

平成27年度 日本小児外科学会  
第6回定例理事会議事録

日 時：平成 28 年 1 月 12 日（火） 10：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：黒田達夫（理事長）、田口智章（理事・会長）、越永従道（副理事長）、仁尾正記（理事・副会長）、八木 實、漆原直人、米倉竹夫、奥山宏臣、山高篤行、広部誠一（以上理事）、上野 滋、濱田吉則、前田貢作（以上監事）、菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、木下義晶（庶務委員）、村上 聡、萩尾 惇（以上事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第6回定例理事会の議事録署名人は、越永理事、八木理事とした。
2. 平成27年度第5回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 報告事項
  - 1) 理事長報告（黒田理事長）

黒田理事長より以下の報告があり、了承された。

    - （1）神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学雑誌第 42 巻 2 号」を受領した。
    - （2）厚生労働省医薬食品局からの寄贈本「医薬品・医療機器安全性情報 No.327～328」を受領した。
    - （3）日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.45No.10～12」を受領した。
    - （4）日本医療機器産業連合会からの寄贈本「医機連ニュースNo.91」を受領した。
    - （5）日本がん治療認定医機構からの寄贈本「2015 年度教育セミナーテキスト」を受領した。
    - （6）日本新生児成育医学会からの寄贈本「日本新生児成育医学会 60 回のあゆみ」を受領した。
    - （7）日本医学会からの通信文「日本医学会だより No.54」を受領した。
    - （8）最高裁判所からの寄贈本「裁判の迅速化に係る検証に関する報告書」を受領した。
    - （9）日本小児循環器学会からの通信文「新事務局のお知らせ」を受領した。
    - （10）難病のこども支援全国ネットワークからの通信文「「がんばれ！」 vol.153」を受領した。
    - （11）日本医療機能評価機構からの通信文「評価機構ニューズレター11 月号」を受領した。
    - （12）日本胸部外科学会からの通信文「理事長退任および新理事長就任のお知らせ」を受領した。

- (13) 日本製薬工業協会からの通信文「製薬協ニューズレターNo.170」を受領した。
- (14) 日本大腸肛門病学会からの通信文「新役員選任の挨拶」を受領した。
- (15) 日本小児血液・がん学会からの通信文「理事長就任の挨拶」を受領した。
- (16) 医歯薬出版株式会社からの寄贈本「学会案内 2016 年 1 月版」を受領した。
- (17) 日本医学会からの寄贈本「2016 年日本医学会分科会総会一覧」を受領した。
- (18) がんの子どもを守る会からの通信文「小児がん医療の姿～いま そして これから 開催報告書」を受領した。
- (19) 日本医療機能調査機構「ニューズレター1月号」を受領した。
- (20) 難病のこども支援全国ネットワークからの通信文「「がんばれ！」 vol.154」を受領した。-
- (21) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針賛同学会共同名義追加」および「手術・処置の休日・時間外・深夜加算に掛かる施設認定条件緩和のお願い」を受領した。
- (22) 川野小児医学奨学財団からの通信文「平成 27 年度小児医学川野賞決定案内」を受領した。
- (23) 日本産婦人科感染症学会設立のご案内を受領した。
- (24) 日本小児麻酔学会からの委嘱評議員推薦依頼を受領した。
- (25) 「すこやか親子 2 1」について、今後は黒田理事長に代わって吉澤小児救急検討委員会委員長が出席することです承された。

## 2) 総合調整委員会報告について（越永委員長）

越永委員長より、資料に基づき、以下の報告があり了承された。

### （1）小児外科専門研修プログラムの整備進捗状況について

①専門医申請における手術経験条件について以下の 2 点の変更を検討していることが報告された。

- ・「鼠径ヘルニア類 100 例以上の執刀経験」の廃止
- ・「新生児 20 例以上の手術経験、うち少なくとも 10 例は執刀経験とし、～」を「新生児 20 例以上の手術経験、うち少なくとも 5 例は執刀経験とし、～」に変更

②論文規定についてどの程度まで認めるか、必要の有無、学会で代替できる制度の導入の提案などがなされたが、具体的な結論には至らず、継続審議事項となった。

### （2）法人化変更について

公益社団法人日本小児科学会事務局の齋藤氏を招聘し、公益社団法人に至った経緯と運営状況についての説明及び質疑が行われた。

・日本小児科学会は日本産婦人科学会の公益社団法人化に伴い、特例措置として一般社団法人を飛ばして公益社団法人になった。また公益社団法人化によって寄付金を受けやすいというメリットが挙げられるが、日本小児科学会としては寄付金を今まで受けたことがない。

・一般社団法人化については学界活動が展開しやすくなるという点、そして税務上においてはメリットもデメリットもないことが挙げられた。一方で公益社団法人化について

は事務局の外部委託に関する指摘、改定作業の煩雑さ等の課題が挙げられた。

・以上のことから、本学会の公益社団法人化は予算的にも非現実的であり、また一般社団法人化への移行、その目的や意味合い等について今後審議を深めることとなった。

- 3) 外科関連専門医制度委員会・日本外科学会専門医制度委員会報告について（黒田理事長）  
黒田理事長より以下の報告があり、了承された。

（1）外科専門研修プログラムについて

・日本外科学会修練指定施設に対して事前に行ったアンケート調査の結果、基幹施設としてプログラム構築を予定している施設は 204 施設にのぼり、想定範囲内であったことが報告された。

・基本領域3年間・サブスペシャリティ領域の研修の連携について、基本領域研修期間3年の内、1年以内を目途にサブスペシャリティ領域を重点的に研修することが認められた。

・認定証について、関連学会と専門医機構の連名での認定が、第三者機関が認定するという根拠を揺らがせているのではないかと指摘があった。

（2）日本専門医機構によるサブスペシャリティ領域のヒアリングについて

日本小児外科学会としては以下2点の要望を行った。

① 基幹病院における単一での研修プログラムの実施

② 数が限られる症例が多いという背景から、初期臨床研修からの症例も認めること

- 4) 日本小児外科学会専門医制度臨時合同委員会報告について（米倉理事）

米倉理事より、資料に基づき専門医研修プログラムについて報告がなされた。

なお、専門医研修プログラム整備基準の未検討部分については、施設認定委員会担当分と専門医認定委員会担当分に分けられ、今年度末の完成を目標とすることが確認された。

「小児外科年次報告\_集計条件案」の公開について専門医制度委員会でのメール審議し承認されたと報告された。

- 5) 日本小児連絡協議会（四者協）についての報告について（田口会長）

田口会長より、資料に基づき報告がなされた。

- 6) 日本小児連絡協議会重症心身障害児（者）・在宅医療委員会報告について（八木理事）

八木理事より、資料に基づき報告がなされた。

- 7) 第2回乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会についての報告（渡井委員長）

渡井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

本会としては、今後研修会に参加する方向性で進めることとなった。

8) 第 12 回日本小児医療政策研究会についての報告（田口会長）

田口会長より、資料に基づき報告がなされた。

9) 第 3 回地域総合小児医療協議会拡大会議報告（漆原理事）

漆原理事より、資料に基づき報告がなされた。

4. 審議事項

1) メディカルオンライン導入について

奥山理事より、ジャーナルの PDF 電子化・配信サービスであるメディカルオンライン導入について、株式会社メテオより提案があったことが報告された。

続いて、株式会社メテオの城井氏より、同サービスの概要および契約内容（案）について説明があった。

審議の結果、導入・運用費用が無料であること、より広く本会学会誌掲載の論文を検索可能にできることなどから、同社と契約することとなった。

2) 第 53 回学術集会について（田口会長・木下委員）

木下委員より、資料に基づき準備の進捗状況について説明がなされた。

なお、プログラム中のシンポジウム（小児がんにおける外科療法の標準化に向けて）について、当初却下されたが理事会メール審議にて承認されたことが報告された。

また、一般演題募集の締め切りを、1 月 15 日(金)から 1 月 22 日(金)に延長予定であることが報告された。

3) 第 54 回学術集会について（仁尾副会長）

仁尾副会長より、現在の準備状況が報告され、承認された。

4) 第 32 回秋季シンポジウム（黒田理事長）

10 月 29 日(土)に大宮ソニックシティで開催されることが報告された。

5) 庶務委員会報告

菱木庶務委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

2015 年 12 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,883 名（うち海外 3 名）、評議員 311 名、名誉会員 53 名（うち海外 8 名）、特別会員 70 名（うち海外 1 名）の合計 2,317 名である。

6) 財務委員長報告

渡井委員長より、資料に基づき報告がなされ、以下のように承認された。

- ・平成 27 年度会計中間報告について説明があった。
- ・邦文誌購読料について、来年度 10 部増刷することが承認された。

- ・手術動画公開に関して、委員会活動費として定額 325,000 円（マイメド）を現在支払っている。この額が適正か、アクセス数を調べた後に改めて検討することとなった。
- ・外部講師の費用に関して、あらかじめ委員会活動費全体の上限を決める方向で検討を進めることとなった。
- ・旅費の支払いの振込手数料について、経費削減のため、役員の口座を学会口座と同支店に開設することなどについて、検討を進めることとなった。
- ・PSI 購読費未納者（30 名ほど）に対して、理事長と財務委員長の連名で請求することとなった。
- ・来年度の学術集會中に開催される NCD-小児外科領域會議の会場費について、予算立てにあらかじめ加えるかについて今後検討することとなった。
- ・サイトビジットの予算立てについて、規模・回数等具体的に決まり次第、検討を進めることとなった。

## 7) 各種委員会報告及び審議事項

### (1) 国際・広報委員会報告（黒田担当理事）

黒田担当理事より、以下の報告があり承認された。

- ・ホームページの掲載内容について、古いものや英語表記等を見直す作業に入っている。
- ・ホームページの会員ページ上に、理事会の議事録を公開することとなった。

### (2) 機関誌委員会（奥山理事）

奥山担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・直近の査読状況が報告された。
- ・投稿既定の改定について、2016 年 1 月 1 日付で改訂版がアップされた。
- ・症例報告の掲載料及び超過料金について高額ではないかという問い合わせがあったことが報告された。刊行に必要な費用などを鑑みると妥当な料金であるとの結論に至ったが、超過料金については、掲載論文のページ数や他雑誌の実情を照らし合わせて適切かを委員会で継続審議することが報告された。

### (3) 保険診療委員会（広部担当理事）

広部担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・外保連試案 2016 が平成 27 年 12 月 18 日に刊行された。今回新しい評価軸該術式が加わり、生体検査ではコーティングの作成が追加された。
- ・厚生労働省から「診療行為及びアウトカムを登録するデータベース」の有無に関するアンケート依頼があり、回答した。
- ・東北大学小児外科から、魚油由来静中用脂肪製剤（omegaven）の日本医師会治験促進センター研究費への応募について推薦依頼があり、審議の結果、推薦することとなった。

#### (4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・ 卒後教育セミナーと内視鏡手術セミナーの進捗状況について報告された。
- ・ 平成 27 年 12 月 1 日、日本医師会の用語委員会に渡辺稔彦委員長が出席されたことが報告された。その際に以下の事項が判明した。

- ① 半数以上の学会で独自の用語集を持っている。
- ② 分科会同士で用語集改編に伴い、すり合わせを行っている。
- ③ 「奇形」などの差別用語の取り扱いについては検討課題であるが、具体的な方向性は決定していない。
- ④ 用語委員会をもって、小児外科の用語に関する取り組みの方向性には直結しない。

また、外科学会の現用語委員である岡山大学消化器外科の藤原俊義教授に確認したところ、外科学会用語集の見直しは 2015 年の夏に終了したとのことである。今後も定期的に見直しを行う予定だが、次回の見直し時期については決まっていない。

・ 専門医・指導医更新のためのセミナーについて、外科学会の過去セミナーを確認し、トピックスが挙げられた。（以下記載）各トピックスに応じて、講師の人選を検討していくことが報告された。

- ① 医療安全
- ② 周術期の感染症
- ③ 小児外科の標準術式
- ④ 内視鏡手術
- ⑤ 外傷
- ⑥ 臓器移植
- ⑦ 術前・術後管理の実際
- ⑧ 小児がん update

また、現在行われている教育セミナーの内容についても、専門医・指導医更新のためのセミナーとなる可能性があることが示唆された。

倫理、感染、医療安全など、大学で講義を受けると、単位を取得できる可能性も高いとことが報告された。

#### (5) 悪性腫瘍委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・ 第 2 回及び第 3 回拡大悪性腫瘍委員会につき、資料に基づき報告された。
- ・ 2015 年小児がん登録につき、資料に基づき報告された。
- ・ 日本小児血液・がん学会疾患登録、日本小児外科学会悪性腫瘍委員会登録、小児がん全国登録の業務一本化のための 3 者会議につき、資料に基づき報告された。3 者のシステムを連携・登録することは困難であるので、方向性としては日本小児血液・がん学会の Web システムを利用していくこととなった。

今後は日本小児血液・がん学会の疾患登録委員会、本学会の登録センター、成育医療

研究センターと会合し、議論を深めていくことが報告された。

- ・顧問として田尻達郎評議員が推薦され、承認された。
- ・小児の外科的悪性腫瘍、2014年登録症例の全国集計結果について承認された。

(6) 学術・先進医療検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ① NCD-Pからの新生児外科全国集計を行うための作業内容（ロジック形成と集計）につき、新生児外科集計にかかる費用と手術患者の予後について問題点が明らかになったことが報告された。
  - ② 次回のデータベース委員会と学術委員会のキックオフミーティングは2016年2月13日、日本消化管機能研究会の会期中に行う予定であることが報告された。
  - ③ NCDを通じて得られたデータを用いた臨床調査研究 研究実施計画書が作成され、12月下旬にデータベース委員会に提出されたことが報告された。
- ・学会ホームページ上に掲載されているガイドラインにつき、現在更新作業中であることが報告された。

(7) 倫理・安全管理委員会（漆原担当理事）

漆原担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・第53回日本小児外科学会学術集会の医療倫理安全管理・利益相反講習会につき、以下の報告がなされた。

◎感染セミナー 講師：岡田賢司先生（福岡歯科大学小児科教授）

演題：小児外科疾患と予防接種（仮題）

◎医療倫理セミナー 講師：井原健二先生（大分大学小児科教授）

演題：未定

◎医療安全セミナー 講師：増本幸二先生

- ・日本医療安全調査機構の社員加入、及び外部委員の推薦については倫理・安全管理委員会に一任する旨が承認された。

(8) データベース委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・2015年の外科系症例登録の入力締め切りについては、2016年4月11日までとなっていることが報告された。（会員メール配信済み）
- ・NCD データ解析につき、外部委員として富田紘史会員を追加することで、承認が得られた。
- ・NCD-Pによる新生児外科全国集計につき、心臓外科の手術の集計を中止することが承認された。
- ・PAPS抄録作成につき、承認が得られた。
- ・2016年度小児外科年次報告の集計条件を公開することが承認された。

・2015年12月21日に小児外科学会・NCD・NTT-PCで3者会議が開かれ、以下の問題点について説明・議論がなされた。

- ① 小児外科専門医申請の際、NTT-PCの症例判定システムについて、NCD導入後、不明である。
- ② NCD術式の紐付けを専門医制度委員会とデータベース委員会で行っているが、NTT-PC側の集計ロジックが更新されているか不明である。

NTT-PCからの報告書をもとに、ロジックのチェックと条件の作り直しを行い、専門医制度合同委員会にて再度練り直しを行う予定である。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、資料に基づき以下報告があり承認された。

・平成28年度学術集會中の小児救急セミナーに、虐待をテーマに市川光太郎先生に講演いただくことが確認された。日程については次回理事会で報告する。

・PALS講習会につき、学術集會とは別の時期に開催することが報告された。また隔年で開催場所を東京都と大阪にすることが報告された。平成28年度については9月17日（BLS）18・19日（PALS）に大阪で開催されることが報告された。

また、初回参加の会員に対して、学会から5,000円の援助を支給することにつき、継続されることが承認された。

・学会ホームページ上に掲載されている小児救急患者受け入れ期間につき、認定施設と教育関連施設以外の小児救急を積極的に受け入れている施設の掲載については、具体的な施設名がピックアップされ次第、審議することとなった。

・学会ホームページ上の小児泌尿器疾患（急性陰囊症）についての受け入れ状況の記載を追加することが承認された。

(10) 利益相反委員会（漆原担当理事）

漆原担当理事より、前回理事会より特に進捗はない旨報告があった。

(11) ワークライフバランス委員会（広部担当理事）

広部担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

・女性評議員推薦枠（クオータ制）の導入案については継続審議となった。

(12) トランジション委員会（八木担当理事）

八木担当理事より、前回理事会より特に進捗はない旨報告があった。

7) さいたま医療ものづくりフォーラム2016後援依頼について（黒田理事長）

・黒田理事長より、さいたま経済局から後援依頼があったことが報告され、審議の結果、承認された。



8) 名誉会員・特別会員推戴について（黒田理事長）

候補者につき検討を行い、次回理事会にて継続審議することとなった。

10) 次回定例理事会日程の確認（黒田理事長）

次回理事会は平成28年3月15日（火）11：00～16：00 日本外科学会会議室にて開催  
することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_